

2025年10月21日(火)第8回小規模交流勉強会を開催いたしました。



【大田氏】

2025年10月21日(火)に、第8回小規模交流勉強会を開催しました。今回は、「AI～経営者が知るべきAIエージェントの現状と可能性～」をテーマに、大田佳宏様(Arithmer(株)代表取締役社長兼CEO)をプレゼンターとしてお招きし、9名の会員の皆様の参加を得て「交流と学び」の有意義な時間を過ごしました。

まず、大田様から、AIは数学の関数でありChat Gptは1兆個の変数の関数だが、その機械学習には300億円が必要。今は10兆個・100兆個の変数を持ったAIによるスーパーヒューマンの開発の動きもあるが、そのための電力確保が大きな課題になっている。それよりも昨年ヒューマノイドに大きな進歩があった。世界の人口100億人に対し現在スマホは80億台、自動車25億台だが、ヒューマノイドは2050年には80億台になり、いずれ人の数を超える。足元では工場の人手不足をヒューマノイドが代替し、2030年に工場の人をゼロにする計画もある。ただそこで重要なのが、200万で買って来たヒューマノイドを動かすための頭脳となるAIである。10年後にはフィジカルAIも進展し、ヒューマノイドが工場で普通に働いている時代になるとのお話をいただきました。

今回事前に、大田様から参加会員限定のAIエージェントの紹介動画を送っていただき、AIエージェントの最前線を理解した上での勉強会となったことから、会員自らのビジネスへの影響など、AIを自分事として考えた現実的な質問が活発に行われました。



【懇親会風景】

参加された会員の皆様から好評のお声が届いております。「ロボットが社員になりかわっていく、社員の幸せは何か?はまさしく当社の本質的経営のテーマでした。」「AIが自分の想定以上に質の面でもスピードの面でも進化していることに改めて驚愕し、様々な前提を変えなくてはならないと思いました。このタイミングで学ぶことができ、本当によかったです。」「技術をリードする方々から直接お話を伺い、世の中の最前線の動きや未来が劇的に変化することを認識しました。」「AIの活用と人とAIの協働を考える上で示唆に富む会合でした。」「太田先生のコメントはもちろん、参加者の皆様の問題意識も興味深かったです。」「自分の勉強不足を痛感しました今後も小規模交流勉強会に参加したい。」

この小規模交流勉強会は、新しい学び交流の場として会員から大変好評をいただいている活動です。会員の皆様に喜んでいただけるテーマを設定し、引き続き開催して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。



【記念写真】